

自己負担2割に増なら…

## 介護サービス「利用控え」34%

### 自己負担が増えた場合の 介護サービス利用意向（複数回答）

減らす、中止する 

自分で負担して  
利用を継続する 

家族の援助で  
利用を継続する 

※民医連調べ

厚生労働省が検討している介護保険制度改革を巡り、介護サービス利用時の自己負担が現在の原則一割から二割に増えた場合、利用を控えると考えている人が計34・4%に上ることが、医療団体の調査で分かった。

介護保険制度は三年に一度見直される。厚労省は、一割負担のうち一定の所得がある人について、「自己負担が一割になつたらサービスの利用をどうするか尋ねると（複数回答）、「減らす」や「中止する」が計34・4%だった。「自分で負担し継続する」は57・1%、「家族の援助で継続する」は13・9%だった。

介護サービス利用を控えた場合の影響を聞いたところ（同）、「身体を動かす機会が減り体調が悪くなる」が49・1%で最も多かった。

民医連の岸本啓介事務局長は、「サービスが利用できなくなれば生活の質が低下する。負担増は撤回してほしい」と訴えた。

厚生労働省が検討している介護保険制度改革を巡り、介護サ

いて二割に引き上げる案を制度改正の議論で示している。

調査は、全日本民主医療機関連合会（民医連）が九（十月）、加盟事業所の利用者に実施した。在宅介護を要ける人やその家族計千九十七人が答えた。